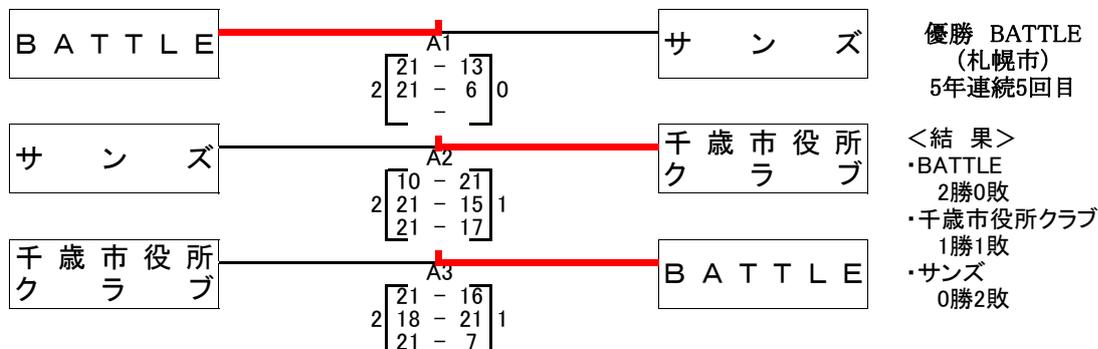


第32回 道央クラブバレーボール連盟 9人制選手権大会

平成27年1月18日(日) 千歳市開基記念総合武道館

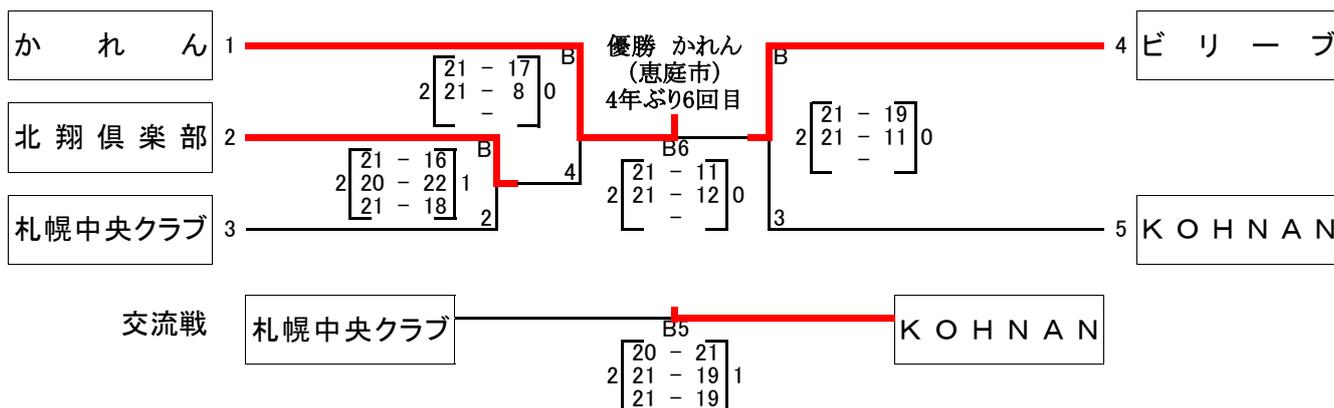
大会会長 吉川 貴盛
 大会委員長 高橋 克徳
 競技委員長 佐藤 充昭
 審判委員長 大友 大輔
 総務委員長 津田 良二

【男子の部】



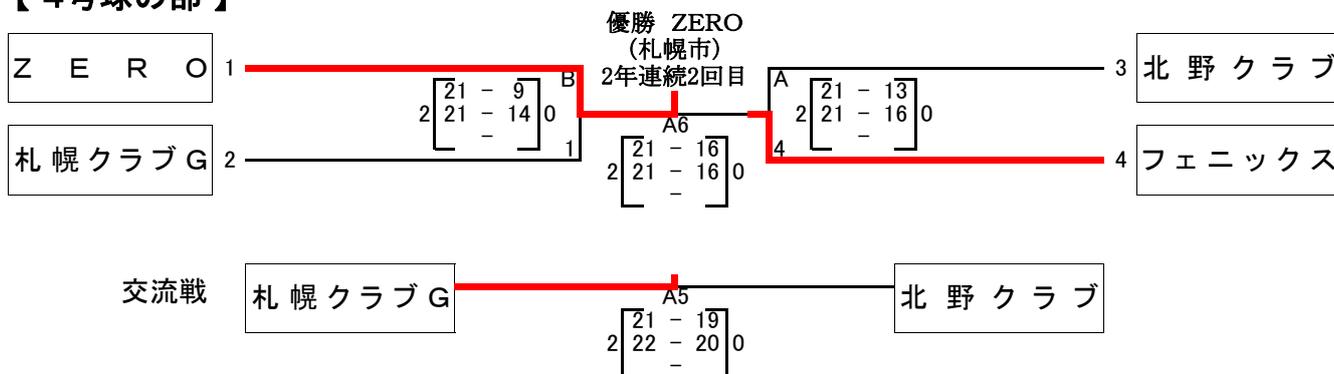
戦評(9人制女子決勝戦) 3チーム総当たりの男子の部だが、優勝したBATTLEは安定したレシーブからセッターの多彩なトス回しによりどのゲームも終始他を圧倒し5年連続5回目の優勝を飾った。またここぞの時はエース9番田垣の活躍が光った。準優勝となった千歳市役所クラブは8番飯塚12番砂原の活躍で対BATTLE戦ではフルセットまで粘り後一步まで追い詰めた。3位のサンズは全員ハレーで必死に2試合とも粘ったが勝利にまでには至らなかった。

【女子の部】



戦評(9人制女子決勝戦) 1セット目の序盤かれんは12番野崎の活躍でリードを広げる。対するビリーブも粘りあるレシーブとブロックで追いつけるが要所でミスも出てしまい終盤かれんが引き離しこのセットを先取る。2セット目は中盤まで互いに譲らずラリーも長くなり接戦となるがポイントポイントでかれん8番高田の強打が決まり一気に突き放してこのセットも連取して4年ぶり6回目の優勝を飾る。

【4号球の部】



戦評(9人制女子4号球決勝戦) 第1セットの立ち上がりは両チームとも堅さが見られるもののZEROは2番世羅のサービスエースで6-3とリード、10番高橋のアタックやサーブで16-12とリードし粘るフェニックスを21-16と先取る。第2セット序盤はZEROが先行するも中盤フェニックスは1番荒津、7番三好のアタックやブロックで盛り返し16-16と追いつくも最後はZEROの攻守に21-16とセットを連取し2年連続2回目の優勝を飾った。

【成績結果】

男子の部	優勝 BATTLE (札幌市)	準優勝 千歳市役所クラブ (千歳市)	3位 サンズ (札幌市)
女子の部	優勝 かれん (恵庭市)	準優勝 ビリーブ (札幌市)	3位 北翔倶楽部 (札幌市) KOHNAN (札幌市)
4号球の部	優勝 ZERO (札幌市)	準優勝 フェニックス (石狩市)	3位 札幌クラブG (札幌市) 北野クラブ (札幌市)